



雲ノ平・奥日本庭園から雲ノ平山荘と水晶岳を望む

北アルプスにヘソがあるなら、まさにそれが雲ノ平と言えるだろう。
薬師岳、水晶岳、鷲羽岳、三俣蓮華岳、黒部五郎岳と
名だたる名峰にぐるりと取り囲まれた雲ノ平は、
北アルプスのど真ん中にその独特な姿の溶岩台地を盛り上げている。
たどり着くのは容易ではないが、山の深さ、自然の美しさを
これほど実感させられる山旅はなかなかない。

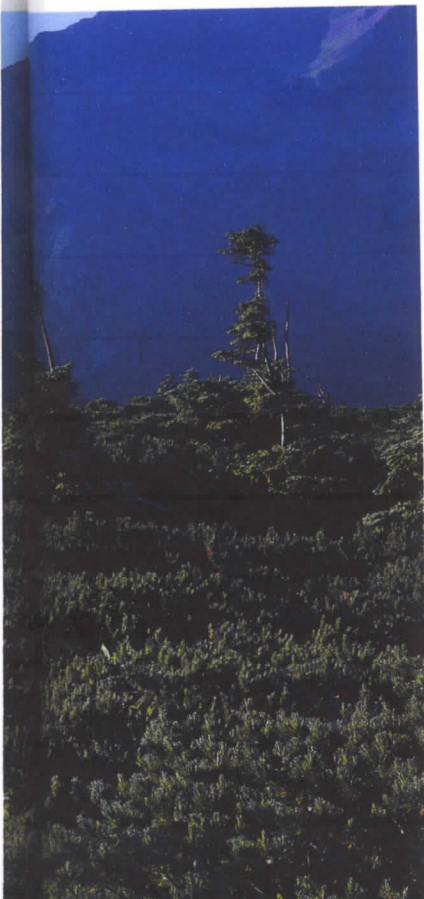
2012. 8

雲ノ平

北アルプスの奥座敷・雲ノ平
大自然の庭園を訪ねる本格縦走コース

折立～太郎平小屋～雲ノ平～岩苔乗越～烏帽子小屋～高瀬ダム

撮影・三宅 岳



The 北アルプス highest trail

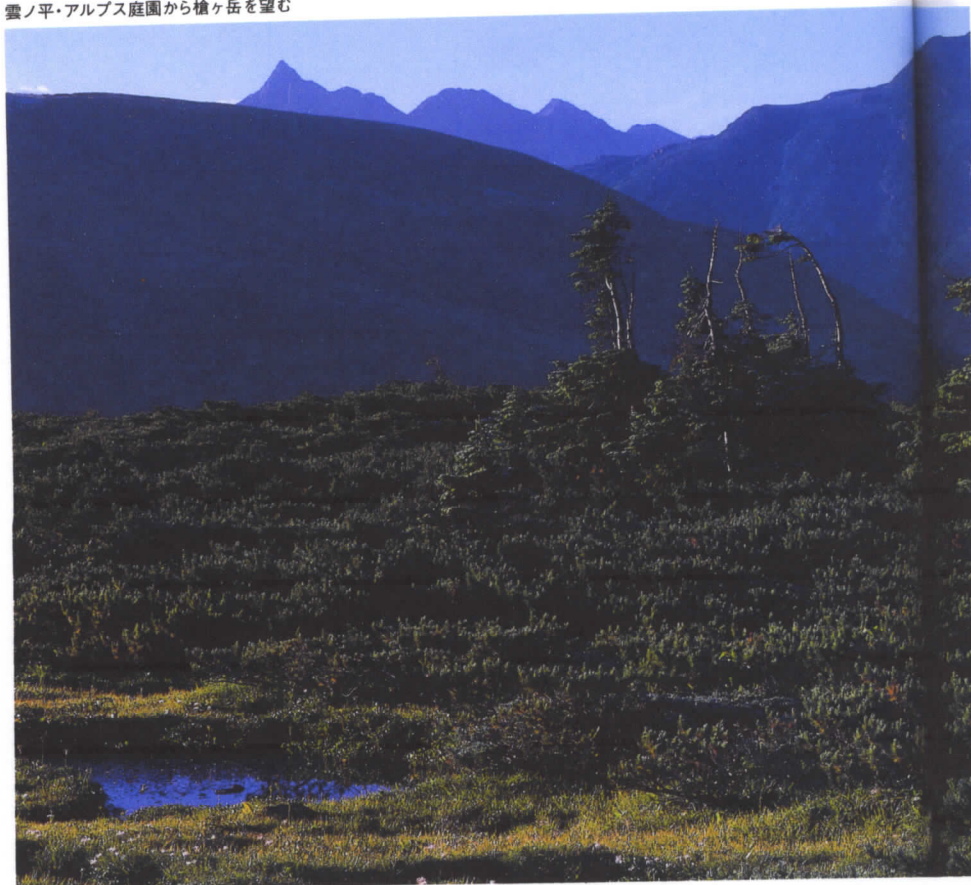


雲ノ平の残照。スイス庭園より



三ツ岳付近から見た野口五郎岳
三ツ岳付近から見た野口五郎岳

雲ノ平・アルプス庭園から槍ヶ岳を望む



Planning Navi

難易度	体力☆☆☆ 岩稜★
標準日程	3泊4日
登山適期	7月下旬～10月上旬
最大標高差	1716m
所要時間	25時間55分
コース距離	約35km
交通費	新宿駅起点3万790円 新大阪駅起点3万2720円
山小屋宿泊費・雑費概算	3万円
プロフィール くものたいら	雲ノ平／標高約2500m、黒部川源流域に広がる溶岩台地。薬師岳、黒部五郎岳、鷲羽岳、水晶岳など名だたる名峰に取り囲まれ、アルプス最奥の庭園、秘境として根強い人気がある



折立から太郎平小屋へ

折立①の登山口には、トイレ、キャンプ場、駐車場、そして売店がある。ただし公衆電話はなく、携帯電話も通じない。
登山道は大きなブナの木の脇をすり抜けるように始まる。歩き始めてすぐに十三重の塔(愛知大学の遭難慰霊碑)の前を通り、しばらくはブナやシラビソの森を縫う湿柔な登山道が続く。1871mの三角点出ると展望が開け、剣岳の特徴ある山容も望める。

ここからは点々とベンチが設置されている。草原と森林が交互に現れるが、次第に広々とした草原に変わっていく。五光岩ベンチ②を過ぎると木道となり、やがてゆったりとした斜面の彼方に、太郎平小屋③が見えてくる。

太郎平小屋から雲ノ平へ

北アルプスの中核部、雲ノ平を目指す。太郎平小屋で登山道の状況を聞いてから出発しよう。薬師岳、黒部五郎岳方面の道を分け、薬師沢小屋へ下る道をたどる。第1徒渉点の橋を渡ると、ここからは比較的なだらかなになる。ほとんどが木道化されており、ぐんぐん距離を稼げる。カベツケ原を抜ければ、薬師沢小屋④に着く。

瀬音の高い小屋から、吊橋で黒部川を渡る。ハシゴを下り、すぐに雲ノ平方面への道が右手斜面に分岐する。ここからは樹林帯の急登が続く。滑りやすい丸石混じりの道をじつくりと登る。傾斜が穏やかになると木道が現れ、雲ノ平の一角、アラスカ庭園となる。続く奥日本庭園と展望も楽しい木道を進めば、ほどなく雲ノ平山荘⑤に到着する。途中、笠ヶ岳や槍ヶ岳、黒部五郎岳といった名峰の眺めが抜群のアルプス庭園(祖母岳に寄り道するのもしよい)。

雲ノ平から野口五郎小屋へ

雲ノ平山荘周辺のギリシヤ庭園とよばれる広々とした台地に行く。小さな尾根上の



① 折立〜太郎平
折立はバス便が少ないので下山時には注意。太郎坂の急登から始まり緩い登りが延々続く。

① 木道歩き
木道の歩行は歩きやすい分スピードが出る。濡れている時や霜が降りている時はスリップ注意。

野口五郎岳から高瀬ダムへ

分岐を左手に行けば、絶景と池塘がコンビネーションで楽しめるスイス庭園。ベンチもあるので、道草を楽しもう。

スイス庭園から戻ったら、テント場を抜けてひと登りで、黒部源流・三俣山荘方面と祖父岳への分岐となる。ここでは、祖父岳を目指す。石ころだらけの祖父岳山頂から少し下るとお花畑が美しい。岩苔乗越付近からは少し谷筋に下ると、黒部源流の鮮烈な水が飲める。岩苔乗越からちよと登った稜線上がワリモ北分岐。この付近に荷をおき、鷺羽岳・ワリモ岳へ足を伸ばそう。鷺羽岳山頂からは火口湖と槍ヶ岳の組み合わせが美しく、ワリモ岳山頂はいつも静かだ。

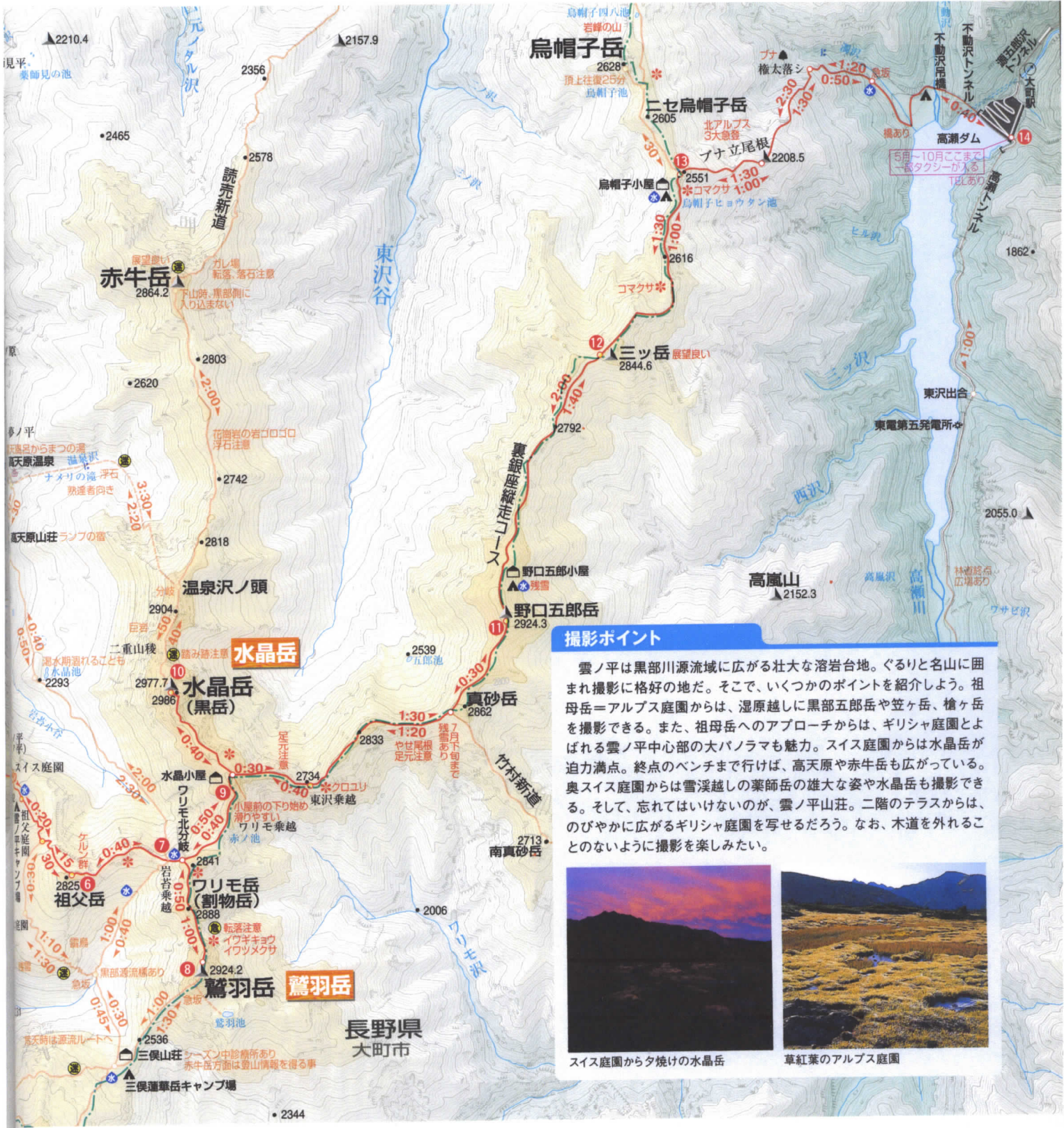
分岐に戻ったら、赤池という草原を抜け、水晶小屋へ出る。ここから水晶小屋へは往復1時間強である。水晶小屋から東沢乗越までは滑りやすいので慎重に下る。東沢乗越から登り返し、真砂岳を巻けば、野口五郎岳はすぐそこ。山頂から少し下れば、野口五郎岳はすぐそこ。山頂から少し下れば、味わい深い野口五郎小屋に着く。小屋は開設期間が短いので注意したい。

野口五郎岳から高瀬ダムへ

野口五郎岳からはゆったりとした稜線をたどる。三ツ岳はピークを通らず、肩を抜ける。ゆったりとした砂礫斜面にはピンクのコマクサが点々と咲いている。三ツ岳から下り、テント場を抜ければ烏帽子小屋に着く。時間があれば烏帽子岳を往復してもよい。山頂手前のクサリ場は慎重に。

烏帽子小屋からは急登で知られるブナ立尾根を下る。しかし手入れはしっかり行われており、安心できる道だ。所要所番号がふつであるので、歩く目安になる。

下りきった高瀬湖は人工湖で、土砂の堆積が著しい。不動沢にかけられた大きな吊橋を渡り、トンネルを抜けると高瀬ダムに出る。ここから大町まではタクシーでの下山となる。



撮影ポイント

雲ノ平は黒部川源流域に広がる壮大な溶岩台地。ぐるりと名山に囲まれ撮影に格好の地だ。そこで、いくつかのポイントを紹介しよう。祖母岳＝アルプス庭園からは、湿原越しに黒部五郎岳や笠ヶ岳、槍ヶ岳を撮影できる。また、祖母岳へのアプローチからは、ギリシャ庭園とよばれる雲ノ平中心部の大パノラマも魅力。スイス庭園からは水晶岳が迫力満点。終点のベンチまで行けば、高天原や赤牛岳も広がっている。奥スイス庭園からは雪渓越しの薬師岳の雄大な姿や水晶岳も撮影できる。そして、忘れてはいけないのが、雲ノ平山荘。二階のテラスからは、のびやかに広がるギリシャ庭園を写せるだろう。なお、木道を外れることのないように撮影を楽しみたい。

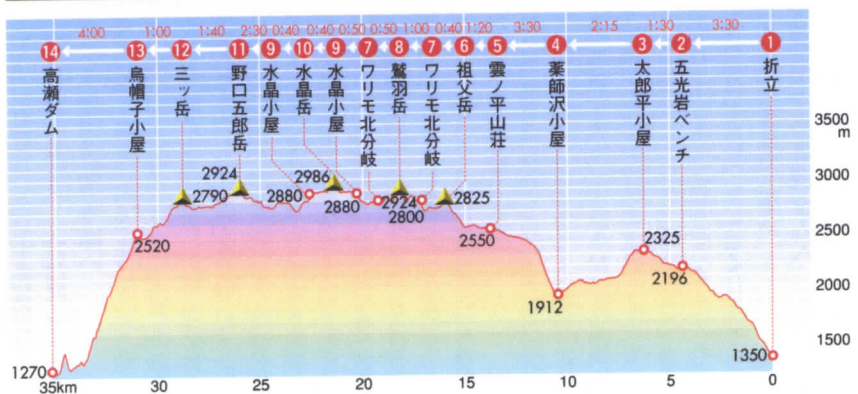


スイス庭園から夕焼けの水晶岳



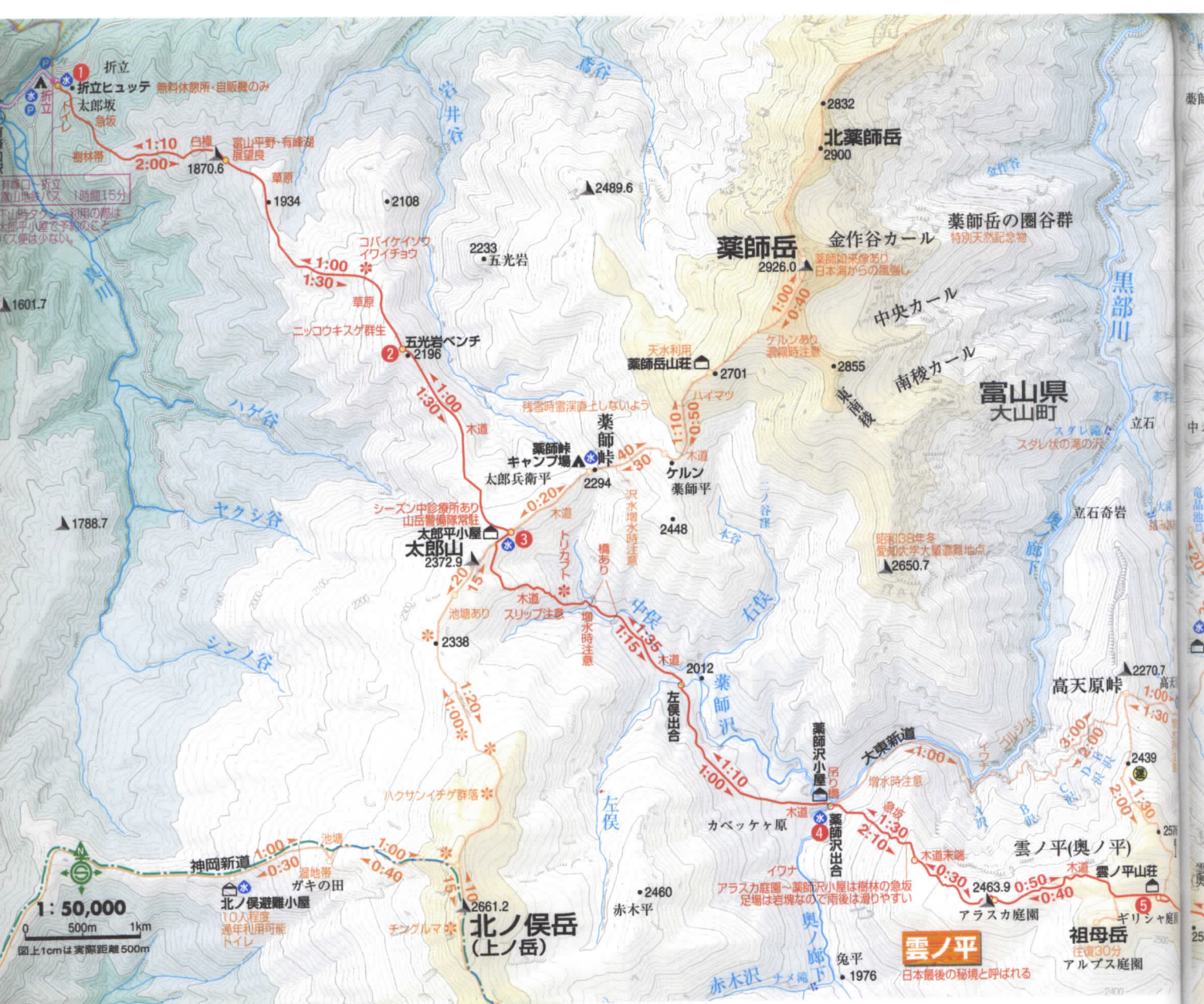
草紅葉のアルプス庭園

標高差グラフ



お花畑ガイド

雲ノ平は豊かな花園だ。と言っても、ただ一面に花が広がっているという場所ではない。雲ノ平で花を楽しむのなら、まずは小屋の周辺のいわゆるギリシャ庭園を散策しよう。当たり年ならば、コバイケイソウの群落に目を奪われるはずだ。また、ゴロゴロと転がる石の上のわずかな土壌には、チングルマの健気な姿が目にとまる。あちらこちらにハクサンイチゲやハクサンフウロの花もよく目立つ。池境の発達するスイス庭園まで足を伸ばすと、湿った環境を好むイワイチョウの姿が多くなる。艶のある独特の葉と、清楚な花に心奪われるだろう。アルプス庭園へ向かう木道沿いには、食虫植物であるムシトリミレの姿も探することができる。



お役立ちデータ

プランニング・アドバイス

本コースは行程が長いので必ず予備日をとっておきたい。3日目の雲ノ平山荘から野口五郎小屋までは約5時間30分の行程だが、これに鷲羽岳と水晶岳の往復を入れると、8時間を超える行程となるので、早発ちは鉄則。決して無理はしないようにしたい。

コース中の宿泊施設

太郎平小屋 (たろうだいらごや)
 営6月上旬～10月下旬、GW。¥1泊2食付き8400円。☎076・491・3030、☎076・482・1917

薬師沢小屋 (やくしざわごや)
 営7月1日～10月上旬。¥1泊2食付き8000円。☎076・491・3030、☎076・482・1917

雲ノ平山荘 (くものたいらさんそう)
 営7月10日～10月13日。¥1泊2食付き8500円。☎090・4672・8108、☎03・5368・1241

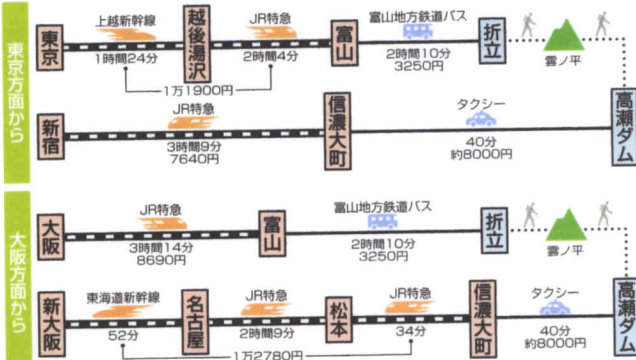
水晶小屋 (すいしょうごや)
 営7月10日～9月26日。¥1泊2食付き8500円。☎090・4672・8108、☎03・5368・1241

野口五郎小屋 (のぐちごろうごや)
 営7月上旬～8月下旬。¥1泊2食付き8500円。☎090・3149・1197、☎0261・22・1446

烏帽子小屋 (えぼしごや)
 営7月上旬～10月上旬。¥1泊2食付き8500円。☎090・3149・1198、☎0261・22・1446



交通



富山地方鉄道バス ☎076・432・3456、大町名鉄タクシー ☎0261・23・2323

参考地図

5万分の1地形図「有峰湖」「槍ヶ岳」 2万5000分の1地形図「有峰湖」「薬師岳」「三俣蓮華岳」「槍ヶ岳」「烏帽子岳」
 昭文社「山と高原地図36剣・立山」

問い合わせ

大山町役場企画観光課
 〒930-1392富山県上新川郡大山町上滝525 ☎076・483・1111
 大町市役所観光課
 〒398-8601長野県大町市大字大町3887 ☎0261・22・0420